

京都勤労者学園

題字は京都労働学校初代校長、故住谷悦治先生の筆です。

ラポール学園
(公益社団法人京都勤労者学園)

京都市中京区壬生仙念町 30 の2
ラポール京都 3 階
電話 075(801)5925 FAX 075(812)1508
ホームページ <http://www.labor.or.jp/gakuen>
e-mail gakuen@labor.or.jp
フェイスブック <https://www.facebook.com/kyoto.labor.gakuen>
ツイッター @LaborGakuen

編集・発行 責任者 安井由美子
2018. 1. 1 発行

あけまして
おめでとーございます

本年もよろしくお願いいたします



府市民教室「実用ペン字」教室

(毎週水曜 午前十時から)

岡本 加寿子先生の作品

※次回募集は二月上旬です。

役員一同

学園長 斎藤 真緒(立命館大)

専務理事 安井由美子

理事 小畑 史子(京都市大)

杉山 雅人(京都市大)

寺井 基博(同志社大)

上田 達子(同志社大)

佐藤 敬二(立命館大)

矢野 昌浩(龍谷大)

小西 一実(連合京都)

赤瀬 史(連合京都)

井上 信治(連合京都)

佐々木真成(京都総評)

坂田 政春(京都総評)

中川多鶴子(京都府)

中西 朋子(京都市)

監事 木村 守(税理法人京都北山事務所)

大西 芳秀(連合京都)

山縣 哲也(京都総評)

顧問 山田 啓二(京都府知事)

門川 大作(京都市長)

望田 幸男(同志社大学名誉教授)

千田 忠男(同志社大学名誉教授)

三村 義夫(元専務理事)

西井 正弘(京都大学名誉教授)

菊池 光造(京都大学名誉教授)

西村健一郎(京都大学名誉教授)

吉田美喜夫(立命館総長)

二場 邦彦(立命館大学名誉教授)

宮川 治(元JAM京都委員長)

田中 行夫(前専務理事)

職員 河原田真弓

上 瀧 淑子

岡 晃子

船越眞優子

半田 敏照

P 1 ~ P 3 年頭挨拶

P 4 京都府労働施策紹介⑩・創立60周年記念講演会報告

P 5 求職者支援事業報告・労働セミナー案内・友の会イベント報告

P 6 府市民教室有志による作品展・ラポール学園の講座をチェック④他

年頭の挨拶

学園長

斎藤 真緒



新年明けまして

おめでとうございます

みなさま、新年あけましておめでとうございます。本学園は、昨年創立六十周年を迎えました。これはひとえに、たくさんのお客様の方々の支えがあつてこそ達成できた、大きな節目であるといえます。

昨年は、「京都で働き、生き、学び続けるために」をスローガンとして、さまざまなイベント

を開催しました。6月に開催した創立六十周年記念式典には、京都府副知事、京都市長、連合京都会長、京都総評議長をはじめ、これまで本学の発展に多大な貢献をしていただいている関係団体の方々、日ごろ学園の活動を支えていただいている講師の先生方など、多数の方にご参加していただき、盛会裡に終え

ることができました。

さらに十月末には、記念講演会を開催し、キャリアと組織開発に関する講演に合わせ、労働組合、大学、行政、それぞれの立場からの理事としての活動を踏まえたパネル・ディスカッションを実施しました。「京都に働き、生き、学び続けるために」を全体テーマに、六十年間を通じて、学園が果たすべき役割や今後の方向性が議論されました。

設立当初の本学園の社会的役割は、学校システムの確立がまだ充分ではない中で、働きながらでも学び続けられる環境を提供し、労働者が主権者としての権利意識を高めていく取り組みにありました。それに対して今日では、大学全入時代、あるいは人生百年という時代を迎え、

学ぶことと働くことのより多様な組み合わせが求められるようになっていきます。パネル・ディスカッションでは、学園の今日的な役割として、単に職場で十分に活用できる実践的な知識の普及だけでなく、講座を通じて多様な人々と「共に学ぶ」意義についての意見交換がありました。

今年亡くなった社会学者Z・バウマンは、著書『自分とは違った人たちとどう向き合うか』の中で、人々の間の共通理解が揺らぎ、民族・文化・宗教による対立を背景とした排除が進みつつある現代社会だからこそ、改めて、他者理解から出発することが重要であると説いています。学びを通じて、異なるニーズや背景をもった多様な人々が出会い、語り合い、お互いの違いに

思いをはせることができる場を提供することこそ、今日の学園に求められている社会的使命ではないかと強く感じました。

学園では、従来学園とはあまり接点のなかった多様な市民・府民のみなさんへの周知も兼ねて、昨年からは、webによる申し込みを本格的に導入しました。また、パソコンもすべてリ

ニユアルし、新しい学習ニーズに対応できるように体制づくりを目指しています。今後も、多様な働き方に対応した講座のあり方について、真摯に取り組んでまいりたいと考えています。この一年の、みなさまのご健勝ご活躍を祈念すると共に、本学園への更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の挨拶

京都府知事

山田 啓二



明日の京都を描くため

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

京都府では、林田・荒巻府政

以来築き上げてきた社会基盤がいよいよ実を結ぶ時期となりました。昨年4月に新名神高速道路の城陽・八幡京田辺間が開通し、ついに京都は京丹後市から木津川市まで高速道路によってひとつに繋がりました。

「海の京都」、「森の京都」と続き、昨年は「お茶の京都」事業により、南部地域全体に大変多くの人が訪れるとともに、北部地域では、美しい絹織物の地「丹後ちりめん回廊」が日本遺産に

認定されるなど、観光面でも過去最高の賑わいとなり、府域全体が大きな盛り上がりを見せた一年となりました。

また、文化庁の全面的京都移転も正式に決定、移転場所も府庁の警察本部本館に決まり、名実ともに京都が「文化首都」と位置付けられ、文化芸術立国に向け大きな役割を担うことになった重要な節目の年となりました。

しかしながら一方では、依然、

我が国周辺で安全保障について大きな緊迫感が続くとともに、少子高齢化や東京一極集中の加速、子どもの貧困など様々な課題が改めて浮き彫りになった一年でもありました。

未来を切り拓く鍵

こうした背景には、少子高齢化や情報化、国際化の中で、家族形態も含め社会の多様化が進展することに対して、「地域の力」「自治の力」が低下し、旧来

の制度や考え方は支えきれない局面が生まれてきたことがあげられると思います。

特に近年では、様々な格差の問題や孤立社会といわれる無関心時代の到来も指摘される中、京都府では、従来から地域力再生を掲げ、地域の絆などの新しい地域づくりの環境・土台を基に、半公半Xの公共員制度や地域の公民の生活機関を集中化したコミュニティコンビニの整備、子ども食堂や居場所づくりのためのこどもの城事業、さらに高齢化時代に医療、介護、福祉を連結させる地域包括ケアの推進、女性活躍から障害のある方の農業分野での活躍を支える農福連携など、幅広く「共生社会」の

実現に向け取り組みを進めてまいりました。

新しい時代へ

今年は、「明治」への改元、そして京都府の設置から百五十周年にあたります。当時、京都では、多くの人や産業が東京へ移り、三分の一の人口が減少したため、千年にわたって都として栄えた京都は、かつてない大きな危機に直面しました。

そのような激動の時代にあっても、京都府は、日本初の小学校（上京二十七番組（柳池）小学校）や女学校（新英学校および女紅場）、盲ろう学校（京都盲啞院）の開校、府立医科大学の前身である医学校を療病院に付

置、京都大学の前身である第三高等中学校の大阪からの誘致、同志社大学の設置許可など人づくりを中心に府政を進め、さらに琵琶湖疏水の建設や経済界とも連動した京都博覧会の開催で産業の振興を図り、西陣織や茶業など様々な分野で新たな取り組みを進め、京都を復活させました。これが京都府政の原点であります。

そうした先人たちの努力が今日の京都の礎を築いてきたのであり、そこには、どんなに困難なときも未来に投資をして、未来のために現代を生きる京都の気概があります。

この百五十周年という節目を迎えるにあたり、今の京都の基

盤が形作られてきた明治の時代を振り返り、常に先進的な取り組みを続けてきた先人たちの姿勢を受け継いで、新しい人づくりと文化力づくりによって京都の生き方が一層魅力あるものになるように、私たちは全力を挙げなければなりません。

京都には今、年間八千七百万人もの観光客が訪れており、世界的にも日本、そして日本文化のふるさと・京都への関心が高まっていますが、二〇一九年から三年連続でラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ二〇二二関西と大規模な国際大会が開催されます。

この機を捉え、「京都文化力プロジェクト二〇一六―二〇二〇」をはじめオール京都で力を合わせ、京都から日本の文化を発信し、大きな交流の渦が巻き起こるよう、全力を傾けてまいりたいと存じます。

人と文化によって地域の資源、歴史、伝統を活かし、人と人が支え合う共生社会の実現により、地域の力を再び取り戻し、新たな時代を切り拓くため、共に歩んでまいりましょう。

私は、この四月で任期を全うする予定ですが、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

年頭の挨拶

京都市長

門川 大作



世界文化自由都市・京都の実現を目指して

あけましておめでとうござい
ます。

新年に当たり、皆さんの御多
幸を心からお祈りいたします。

皆さんの御支援をいただき、

市長就任後十回目の新年を迎えました。この間、徹底した現地
現場主義で八千近い市民活動や

市政の最前線を訪れ、京都の今を見つめ、未来のためにまい進してまいりました。

「美しいまち京都が誇らしい」「まち歩きを安心して楽しめるようになりました」。多くの方からこうしたお声を頂く度、京都のまちが着実に深化してきたことを肌で感じ、嬉しく、御尽力の皆さんに感謝しています。

そして迎えた本年。京都が最高の都市理念として掲げた世界文化自由都市宣言から四十年です。「広く世界と文化的に交わる
ことによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都

市」。この理想の実現を目指し、「文化」を基軸としたまちづくりを更に加速させる年がスタートしました！

文化庁が機能を強化し、二〇二一年度に京都へ全面的に移転。これを大きな力に、子育て支援や教育・福祉、観光、景観、環境、中小企業の活性化、雇用の創出、安心安全など、あらゆる施策に文化で横串を通す。さらに、文化や地域活動に親しむ「京都ならではの働き方改革」でまさに一層の活力を生み、地方創生のモデルを示す。新年を迎え、決意を新たにしています。

そして本年は、明治維新から百五十年。都の地位を失い、都市存亡の危機を迎えていた京都を、全国初の小学校や芸大、工業高校の創設、琵琶湖疏水や市電の開業などで見事に復興させた先人たち。その志と偉業に学び、共に挑み続けられれば、様々な課題を克服し、世界文化自由都市の理想を実現できる。私は確信しています。

「日本に、世界に、京都があつてよかった」と多くの方に実感していただけるよう、本年も共に全力を尽くします。

京都府労働施策紹介⑯

京都中小企業労働相談所を御利用ください

京都府 労働・雇用政策課

京都府では、京都テルサ（京都市南区）内に「京都中小企業労働相談所」を設置し、労使双方からの労働に関する相談に応じています。

賃金や労働時間のほか、職場の人間関係に関する事など、仕事や職場に関することであればどんな問題でもお気軽に御相談ください。相談員がお話をじっくりうかがい、問題の解決に向けて相談者と一緒に考えます。

正社員のほか、パートや学生アルバイトの方、派遣労働者の方の相談にも応じます。

「どこに相談すればよいかわからない」という場合も、ぜひ御相談ください。

○労働相談の実施状況

労働相談所では、一般相談（月～金 9時～17時）に加え、夜間、土曜日に社会保険労務士による相談を実施しています。各相談の実施時間、平成28年度の相談件数は次表のとおりです。

京都中小企業労働相談所の相談

	相談時間	平成28年度の件数
一般労働相談	月～金 9:00～13:00、14:00～17:00	1,958
非正規労働ほっとライン（社会保険労務士による相談）	土 9:00～13:00、14:00～17:00	429
若者等労働ホットライン（社会保険労務士による相談）	月～金 17:00～21:00	743
★特別労働相談（弁護士による相談）	第3木曜日 13:00～16:00	61
★働く人のメンタルヘルス相談（産業カウンセラーによる相談）	第2水曜日 13:30～16:30	24

★：予約制。京都中小企業労働相談所で予約受付

平成28年度の相談者のうち41.5%は、パート・アルバイト・派遣等の非正規労働者が占めています。

○まずは電話で御相談ください

中小企業労働相談所では、電話と来所の相談を受け付けています。

京都府内からはフリーダイヤル（通話料無料）を御利用いただけます。まずはお気軽に電話で御相談ください。早く御相談いただければ、解決の選択肢が広がります。

また、複雑な相談の場合は来所いただくことをお勧めします。夜間の来所相談は予約制ですので、相談時間内に電話で御予約ください。

○専門家による労働相談を実施

中小企業労働相談所では、複雑な相談に対応するため、弁護士による相談と産業カウンセラーによる相談を実施し、専門的なアドバイスを行っています。

どちらも予約制で、来所のための相談です。予約は中小企業労働相談所で受け付けます。相談時間内に御連絡ください。

京都中小企業労働相談所 フリーダイヤル（京都府内限定）**0120-786-604**

電話：075-661-3253 FAX：075-692-3452 京都市南区新町通九条下ル 京都テルサ西館3階

相談はすべて無料です。



創立六十周年記念講演会

▼秋の公開セミナー▲

「京都で働き、生き、学び続けるために」実施報告

十月二十八日（土）にラポール京都二階大ホールにおいて本学園の創立六十周年記念講演会が開催され、四十代～六十代を中心とした約百名が参加しました。

第一部は、神戸大学教授金井壽宏氏による基調講演「キャリアの節目は自分でデザインしよう」で、十年・十五年という大きなスパンでやっていくキャリアの節目を意識的に自分でデザインし、節目以外では流れに乗る（ドリフトする）ことの大切さ、リーダーシップの在り方等についてお話しいただきました。

また、第二部のパネルディスカッションでは、斎藤真緒学園長をコーディネーターとして、理事四名が登場し、「京都で働き、生き、学び続けるために」をテーマに、「京都で働き、生き、学び続けるために」についてのアイデアや思いを述べ、本学園のこれからの役割について議論いただきました。

受講者がそれぞれの経験を振り返り、自らのキャリアについて考えるよい機会であったと共に、パネルディスカッションを通して学園の理念や事業について広く知っていただけたのではないかと思います。

求職者支援 訓練事業

平成29年10月開講コース 14名で訓練を開始する

職業訓練の実施等による特定求職者の支援に関する法律（略称：求職者支援法）が施行されてから6年になり学園としては、この10月開講コースで13回目の実施となります。

また、訓練期間を平成27年6月から3ヶ月コースから4ヶ月コースに変更して以来3年目に入り、この2年間は毎年3回コンスタントに開講しています。

10月コースについては、過去2回は8名、11名と応募が定員に達していませんでしたが、今回は、15名で定員いっぱいの応募がありました。

選考は1名の方が辞退され14名の方を筆記試験と面接で選考を行い14名全員を合格とし、その後開講まで辞退者もなく14名で訓練をスタートしました。

受講者の属性は、男性3名、女性11名で、年代は、10代1名、20代4名、30代3名、40代4名、50代1名、60代1名でした。

訓練を開始して、1ヶ月経過しましたが、訓練生は、休む方も少なく熱心に受講されています。

労働関連法セミナー

病気と仕事の両立支援のために

あなた自身やあなたの職場で、精神疾患やがんなどの難治性疾患のために、療養生活に入っておられる方、今後どうしようか悩んでおられる方はいませんか。また、職場復帰の仕方や迎え入れ方法について、思案されている企業の担当者の方はおられませんか。

いま、人手不足のため国は「働き方改革」の中で、そうした方々の雇用の維持に努めるとともに、積極的に活用する方向へと政策の舵を切っています。

そこで今回は、「病気と仕事の両立支援」に向けた今日的な課題を取り上げ、安心して働きながら生きるための手立てについて考えます。

- ① 3月14日（水）午後6時30分～8時30分

「病気と仕事の両立支援に向けた今日的な課題」

講師：埜村 順子（精神保健福祉士）

- ② 3月19日（月）午後6時30分～8時30分

「職場復帰に向けた医師の役割—主治医と産業医の立場から」

講師：上床 輝久（京都大学健康科学センター・医師）

- ③ 3月22日（木）午後6時30分～8時30分

「困った時に役立てたい労働・社会保険などの活用方法」

講師：山口介衣子（大阪社会保険労務士会所属）

会 場：ラポール学園 中京区四条御前西入る北側 ラポール京都3階

申 込：NPO法人あったかサポート 又は ラポール学園窓口

FAX 075-352-2646 メール attaka-support@r6.dion.ne.jp

問合せ：TEL 075-352-2640（NPO法人あったかサポート）

資料代：各回500円 主 催：公益社団法人京都勤労者学園 NPO法人あったかサポート

第三十回 友の会イベント報告

大垣散策

茶谷 優香里

大垣は関ヶ原の戦いで西軍として戦い、松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終えた地です。

まず郷土館で関ヶ原の合戦絵図を見ながら大垣の合戦の説明を聞き、次に訪れた大垣城では甲冑や資料の展示のほか、体験用の弓や槍、火縄銃を手に取ることもできました。

水門川に沿った遊歩道には、芭蕉が奥の細道の旅を終えたあと、伊勢に向かって船出した湊があります。この湊は、江戸時代さまざまな物資の運搬で賑わったそうです。

「奥の細道結びの記念館」では、奥の細道の足跡を辿り、滋賀キリンビール工場へ。

ビールの原料である麦やホップの香りを確かめた後は、お待ちかねビールの試飲です。

大垣が友の会最後の旅となりました。三十年間、色々な所に行きました。隠れた名所が持ち味でした。最後の旅も、ほろ酔い気分も重なり、賑やかに終わることができました。

団体園員の皆さんへ

・・・出張講座をご利用ください・・・

学園では、労働者の学習機会を拡大するため、労働組合等と協力して出張講座を行っています。年 1 回、団体園員の実施される講座に学園からも参画し、実施経費として 3 万円を負担いたします。

また、講座の企画、講師の斡旋なども行っていますのでご相談ください。申込みは学園 HP からダウンロードできます。

2017 年新日春展に日本画受講生入選

新日春展が文化庁・東京都・京都府の後援で、東京都美術館では 4 月 19 日(水)～24 日(月)まで、京都文化博物館では 7 月 25 日(火)～30 日(日)まで開催され、府市民文化教養講座・日本画教室の大杉時子さんと堀左斗美さんが入選されました。

大杉時子さん



堀左斗美さん



日本画 第 8 回優遊展開催

日本画教室の有志による第 8 回優遊展が寺町の三条ギャラリーヤマシタで 11 月 14 日(火)から 19 日(日)まで開催されました。当学園の講師中村文子先生の指導のもと、受講生のみなさん 28 名の力作が出展され、265 名あまりの来場者が会場をにぎわしていました。

第 10 回 関西朗読コンテスト準予選通過報告

2017 年 7 月 13 日(木) 大阪市立中央会館で開催された第 10 回関西朗読コンテストにおいて、当学園の「声に出して読む美しい日本語・朗読」講座(杉山一雄講師)の受講者太田桂子さんが『すかたん』を朗読され準予選通過者(10 名)として選ばれました。

お知らせ

勤労者学園事務局は 12 月 25 日(月)～28 日(金)は午後 5 時まで。12 月 29 日(金)～1 月 4 日(木)、6 日(土)～8 日(月)は休み。1 月 5 日は午後 5 時まで。9 日(火)から通常営業となります。

日	月	火	水	木	金	土
12 月						
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1 月					
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13

年末年始の営業
● お休み
□ 午後 5 時まで

2018 年 1 月～3 月の予定

12 月 29 日～1 月 4 日 年末年始の休業

1 月 5 日 仕事始め 6 日・7 日・8 日は休み

1 月 10 日 パソコン教室 2 月生受付開始 10 時～

2 月 5 日 パソコン教室 3 月生受付開始 10 時～

府市民教室 2017 年度第 4 期受付開始 10 時

3 月 5 日 京都労働学校・英会話教室 春期生受付開始

3 月中 公開セミナー

ラボール学園の講座をチェック！④ 次期のお申込は 2 月 5 日(月)からです。

実用ペン字 …正しく美しく書くポイントを学びましょう…

講師：岡本 加寿子 (文部科学省後援硬筆・毛筆書写検定審査員)

受講料：10 回 13,000 円 (申込の際テキスト代 790 円必要)

曜日・時間：毎週水曜日 午前 10 時～正午

人前で芳名録を書いたり、誰かに手紙やはがきを出すとき、もっと字がきれいだったらと思ったことはありませんか？ この講座では字を美しく書くポイントや正しい書き順、きれいにみえる配置などを楷書から草書まで解りやすく学びます。

少しコツを習得するだけで全体の印象がグンと違いますよ。年賀状や季節の便りの書き方も練習します。お子さんの連絡帳を書くときなどにも役立ちます。希望される方には文部科学省後援の硬筆書写検定受験の指導もしています。

